

勝平幼稚園ひよこ保育園 園評価

令和6年度

記入方法 ABCの3段階評価です。該当する欄に記入して下さい。(A:大変その通り B:まあまあその通り、C:改善を要する。)・項目毎に意見・改善策を記述して下さい。						人数× 点数	総数÷ 31	意見・改善策	園評価 A2.3以上 B1.5以上 C0.8以上 D0.8未満	
項目	年度	番号	内容	A(3)	B(2)	C(1)	評価の 総 数			評価の 平均点
保育目標・経営全般について	令和6年	①	園目標を理解している。	18	13	0	80	2.6	<ul style="list-style-type: none"> 園目標は変わらずにあるもの。重点目標は毎年変えていくもの。その理解を深めていきたい。 保育目標など全職員で検討することが難しいが、どんな園でありたいか、どんな活動を取り入れたいか等話し合っていきたい。 保護者に対して園の考えを伝えるだけでなく、柔軟に対応してもいいのではないかと。(持ち物以外) 	A 平均点 2.4
		②	園目標は、地域の特色や時代の流れに即し検討できる体制が整っている。	10	21	0	72	2.3		
		③	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	17	14	0	79	2.5		
		④	重点目標は幼稚園、保育園を含む全職員で検討し、且つ共通理解を図っている。	12	19	0	74	2.4		
		⑤	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	15	16	0	77	2.5		
		⑥	園は地域の願いや保護者の願い、意見をよく反映した園運営を行っている。	10	18	3	68	2.2		
教育・保育について	毎年	①	園目標や方針を理解し、日常の保育に反映している。	16	15	0	78	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 素材を上手に取り入れたり遊具の遊び方を工夫したり等、環境の構成について複数担任なので、参考になることがあった。 今年からの体制の中で話し合いが思うようにできなかった。 優しく話し掛けるよう心掛けているが、訛りが出てしまったり、名前を愛称で呼んでしまったりする時があるため、正しい言葉を使うよう気を付けていきたい。 不適切な保育にならないように、チェックシートで今後も確認していく。 	A 平均点 2.4
		②	週日案・月案などの指導計画は園児の興味・関心意欲に合わせて、保育の連続性や季節の変化を考慮して作成している。	20	11	0	82	2.6		
		③	指導計画を園児の発達の様子、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている。	17	14	0	79	2.5		
		④	環境の構成を配慮した保育を常に工夫している。	15	16	0	77	2.5		
		⑤	教材を研究し、素材・用具を適切に活用している。	13	18	0	75	2.4		
		⑥	職員間で保育について話し合いより良い保育の改善に努めている。	21	9	1	82	2.6		
		⑦	正しい、美しい言葉で園児に話している。	0	27	4	58	1.9		
行事について	毎年	①	行事の種類や実施回数は適切である。	7	15	9	60	1.9	<ul style="list-style-type: none"> 行事が続く時期があり、子どもの遊びや活動が制限されてしまうため、行事の時期や回数を見直していきたい。また、働き方に見合った仕事量を検討していきたい。 誕生日会は各クラスで行い、大きな行事に併せてホールでも数カ月まとめて紹介するが、違和感がある。以前の誕生日にお祝いするように、見直しを考えてほしい。 	B 平均点 2.2
		②	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	11	19	1	72	2.3		
		③	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	13	18	0	75	2.4		

経営・組織	運営	令和6年	①	各種会議を適切且つ効率的に進めている。	6	22	3	65	2.1	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議のあり方について、幼保それぞれで検討できることを選別する等、もっと時間を短縮すべきである。大きな行事の変更等の検討に時間をかけたい。 年長は外部に出ることも多く、話し合いが不十分だったので、検討が必要である。 全体への周知を徹底する伝達の仕方を考えていきたい。 	B 平均点 2.2
			②	職員相互がそれぞれ全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設の運営に関わっている。	12	19	0	74	2.4		
			③	打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。	8	18	5	65	2.1		
	保健・安全指導	令和6年	①	年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保護対策を講じている。	16	15	0	78	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 訓練活動は毎月行っているが日々の保健や安全に関しては、保育者の判断に頼るところが大きい。 各家庭の職場のことを考慮すると、子どもの体調が悪い時、強く言えないこともある。また、体調が優れない時の保護者の対応に悩まされることもある。 送迎時、子どもと手をつなぐに道路駐車場に出る家庭が多く、何度も危ないからと声をかけるのも嫌がられるかと遠慮してしまう。入口に危険を知らせる掲示等してはどうか。実際、飛び出して車が来て危なかった事例もあった。 常識だと思っていることが、各家庭で常識ではないこともあり、色々な場面で悩む時がある。 熊目撃メールを園が開く前に欲しい。 近年、熊の出没が増えたことで、散歩や園外保育時の安全を確保することがより難しくなったと感じている。 	A 平均点 2.6
			②	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	26	5	0	88	2.8		
			③	健康・安全な生活のために必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	16	15	0	78	2.5		
			④	乳幼児の安全確保のため、家庭、地域社会・関連機関等と連携を図っている。	19	12	0	81	2.6		
	情報について	令和6年	①	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っている。	25	6	0	87	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 園での情報は外部に漏らすことなく、適切に取り扱っており、守秘義務を守っている。 登降園簿は保護者が記入しているが、他児の時間も見る事ができるのでICT化を検討して欲しい。 	A 平均点 2.8
②			公文書收受、発送、処理を適切に行っている。	24	7	0	86	2.8			
③			各表簿は、適切な方法で作成・処理している。	22	9	0	84	2.7			
開かれた園づくり	家庭・地域との連携	令和6年	①	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定している。	3	15	13	52	1.7	<ul style="list-style-type: none"> 参観時間はある程度制限が必要だと思うが、保護者が自由に日にちを選ぶ等、もう少し工夫してもいいのではないかな。 コロナを機に減少した行事もある。地域の人達と交流できればと思う。 熊の出没の怖さはあったが、対策をして5年ぶりに例大祭へ参加し、地域との関わりを感じることができた。 	B 平均点 2.1
			②	保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切である。	7	23	1	68	2.2		
			③	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。	8	19	4	66	2.1		
			④	地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れている。	15	16	0	77	2.5		